

蜂対策マニュアル

6. 蜂刺され時の応急処置について（吸引器で毒液や毒針を抽出し、軟膏を塗布する）

咬まれたり、刺されたりしてもあわてたり、騒ぎ立てないで下さい。動き廻ると体内への毒の拡散が早くなりますので、被害者を静かにさせて下さい。咬まれたり、刺されたりしたら直ぐに、遅くとも2分以内に「吸引器」を使用した応急手当を行い、虫さされ・皮膚炎対応の軟膏を患部に適量塗布する。

（1）吸引器について

- ①蜂や毒蛇に刺されたり、咬まれた時は、直ちに体内に入った毒液や毒針を排出しなければなりません。「吸引器」は毒液や毒針を吸引作用で抽出する器具です。医師の手当を受けるまでの応急処置として必携品です。
- ②刺された患部にあわせて大小の吸引カップが ケース内4ヶ付属しています。ポンプのシリンダー内に特殊の弁があり、吸引時の空気の流速が非常に速いので、刺した後針を残す毒虫等に有効です。
- ③吸引器の主な対象種は蜂・ブユ（ブヨ・ブト）・アブ・ムカデ・蛾（ドクガ類）・蛾（イラガ類）・蚊・ゲジ（ゲジゲジ）・蛇など

（2）吸引器の取扱方法

傷口に応じたカップをご使用下さい。カップは大小4つのサイズがありますので、たとえば、幼児の指のようなところへは、径の小さいカップをはめて下さい。

- ①まず、シリンダーの先にカップをはめて下さい。
- ②ピストンレバーを引いてから、カップの面を傷口にあてて下さい。
- ③親指でレバーの頭部を押し、レバーの止まる場所まで押し下げて下さい。約60~90秒間そのままにしておくと、皮膚の表面はカップ内に吸引されるのが見えます。（バキューム作動）引き続きこのバキューム作動を、数回繰返して毒液を排出して下さい。※毒蛇に咬まれた場合は、3分以上バキューム作動をして下さい。ピストンレバーを引き上げると「吸引器」は外れます。その時皮膚の表面に吸出された毒が出ていますから、その毒液を飛び散らさないよう注意して下さい。

（3）軟膏の塗布し、その後医師の手当を受ける。症状によっては救急車の手配を行う。

（4）上司、施設管理者への報告をその場で必ず行う。